



日本



米国



ユーロ圏



カナダ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

債券・為替ウィークリーレポート (先進国・新興国)



ブラジル



南アフリカ



インドネシア



インド



メキシコ



トルコ



中国

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/17 (2/10との比較) 今後の見通し (※4)	2/17 (2/10との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3)	先週末		
				景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
日本 	A+	0.09% (+0.00)		+1.7% 2016年4Q	-	GDP（国内総生産）は市場予想通り4 四半期連続のプラス成長。引き続き日 銀の国債買い入れ策を通じた金利上昇 抑制姿勢が意識され、日本株の上値が 重い展開となる中、国債利回りはほぼ 変わらず。	貿易収支などの発表が予定される中、 引き続き日銀による国債買い入れに関 わる動きが注目。需給環境と海外市場 をにらみながら、国債利回りはレンジ 内での推移が予想される。
	A1	 金利横ばい		 景気安定	-		
米国 	AA+	2.42% (+0.01)	112.84円 (▲0.34%)	+1.9% 2016年4Q	0.75%	イエレンFRB（米連邦準備制度理事 会）議長は議会証言で、金融緩和解除 を待ち過ぎることは賢明ではないとの 見方を示す。CPIが大幅に伸びる中、 国債利回りは小幅上昇。米ドルは対円 で下落。	FOMC（米連邦公開市場委員会）の議 事要旨公表が予定され、引き続き金融 政策の先行きを探る状況。また、新政 権の政策動向や欧州政治状況も注目さ れ、国債利回りは上昇しにくい環境に あるとみられる。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ユーロ圏 （*） 	AAA	0.30% (▲0.02)	119.81円 (▲0.56%)	+1.7% 2016年4Q	0.00%	イタリア前首相が党首選挙と国政選挙 の実施を主張する動きがあり、各国政 治への先行き不透明感がある中、ギリ シャやイタリアの債務状況なども材料 視される。国債利回りは小幅低下。 ユーロは対円で下落。	ユーロ圏財務相会合などで、ギリシャ 支援などについて議論がなされる模 様。引き続きフランスやオランダ、イ タリアなど各国の政治動向が注目され る。また、米国の政策動向からも影響 を受ける状況が持続するとみられる。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示（*ユーロ圏についてはドイツの同格付を表示）。※2 10年国債利回りを表示（*ユーロ圏はドイツ国債利回り）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、米国：フェデラルファンド金利、ユーロ：主要リファイナンス金利を表示、日本は金融政策の目標が無担保コール翌日物からメタリーベースに変更されたため非表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/17 (2/10との比較)	2/17 (2/10との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.71% (+0.01)	86.17円 (▲0.43%)	+1.3% 2016年3Q	0.50%	製造業売上高は市場予想を上回る内容。トルドー首相とトランプ米大統領の首脳会談では外交やNAFTA（北米自由貿易協定）についての意見交換もなされる中、国債利回りは小幅上昇。カナダドルは対円で下落。	小売売上高やCPIなどの発表が予定され、景気回復度合いを探る環境。引き続き、NAFTAの再交渉や米国の政治経済動向に加え、原油価格も注目される。
	Aaa	 金利上昇		 景気安定	 据え置き局面		
オーストラリア 	AAA	2.80% (+0.11)	86.51円 (▲0.45%)	+1.8% 2016年3Q	1.50%	企業景況感指数や消費者信頼感指数、雇用統計などの経済指標が改善基調を示す中、国債利回りは上昇。鉄鉱石価格が堅調に推移する中、オーストラリアドルは対米ドルで上昇、対円では下落。	設備投資などの経済指標の発表のほか、中銀総裁の議会証言・講演を予定。引き続き景気回復の度合いなどを確認する環境。また、米国や中国の政治経済動向などを受けた海外市場が注目される。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ニュージーランド 	AA+	3.33% (+0.13)	81.07円 (▲0.52%)	+3.5% 2016年3Q	1.75%	住宅販売の前年比マイナス幅が拡大したほか、製造業景況感指数は低下、実質小売売上高も市場予想を下回るなど、経済指標は全体的に景気の頭打ちを示唆する内容。ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	生産者物価指数などの発表を予定。いずれも底堅い動きが予想されるが、景況感を大きく改善させるには至らない見込み。酪農品の国内市況はやや軟調となっており、今週実施される入札の落札価格はやや低下する公算。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.72% (+0.10)	13.52円 (▲0.17%)	+1.8% 2016年4Q	0.50%	消費者信頼感指数は改善し、貿易収支は黒字。中銀総裁は、石油基金の収入を過度に財政支出に使用することへのリスクを警告。為替市場全体の傾向に影響され、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは上昇。	失業率などの発表を予定。前回から横ばい推移となり、極めて緩やかなペースで景気回復が続いていることが確認される見込み。金融市場の動きは国内要因よりも原油価格動向に左右される見込み。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期格付を表示。※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国 (地域)	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/17 (2/10との比較)	2/17 (2/10との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
ブラジル 	BB	10.26% (+0.03)	36.42円 (+0.20%)	-2.9% 2016年3Q	13.00%	景気回復の伸びが抑えられるとの思惑から追加利下げ観測は強く、国債利回りは小幅上昇。財政改革期待や鉄鉱石価格の上昇を受けて、レアルは対米ドル、対円ともに上昇。	金融政策決定会合が開催される予定。利下げの実施が見込まれ、国債利回りに低下圧力がかかりやすい展開を予想。レアルは、年金改革を中心に財政健全化への期待感が下支えとなる展開を予想。
	Ba2	→ 金利横ばい	→	↑ 景気回復	↓ 利下げ局面		
南アフリカ 	BBB	7.96% (▲0.10)	8.65円 (+2.26%)	+0.7% 2016年3Q	7.00%	小売売上高は軟調ながら、インフレ統計は市場予想を下回る。失業率は改善。資源価格の堅調な推移を受けて、国債利回りが低下。ランドは対米ドル、対円ともに上昇。	2017年度予算案の発表を予定。主要格付機関による債務格付を意識し、財政規律の堅持が示される見通し。債券・為替市場は財政リスク、政治的緊張の高まりから上値の重い展開を予想。
	Baa2	→ 金利横ばい	↓	↓ 景気鈍化	↑ 利上げ局面		
インドネシア 	BB+	7.22% (+0.02)	0.85円 (▲0.47%)	+4.9% 2016年4Q	4.75%	中銀は市場予想通りに政策金利の据え置きを決定。インフレ圧力を注視しつつ、慎重ながら緩和的な姿勢を維持したことなどを背景に、国債利回りは小幅上昇。円高により、ルピアは対円で下落。	主要な経済指標の発表予定はなし。米国債券市場が落ち着きを見せる中、相対的な利回り水準の高さが選好されやすいことから、同国の債券・為替ともに底堅い推移を予想。
	Baa3	→ 金利横ばい	→	↑ 景気安定	→ 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.79% (+0.01)	1.68円 (▲0.59%)	+7.3% 2016年3Q	6.25%	インフレ統計はCPIが低下する一方、卸売物価は上昇率が加速。GST (物品・サービス税) に関する審議では、審議会が同案のドラフトの一部を承認。国債利回りは小幅上昇。インドルピーは対米ドル、対円ともに下落。	財務相はGSTに関する法案を3月上旬にも国会に提出する意向。7月の同税制の導入に向けて、その進捗に注目。主要なイベントはなく、市場は債券・為替ともに底堅い推移を予想。
	Baa3	→ 金利横ばい	→	↑ 景気回復	↓ 利下げ局面		

(出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成)

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期価格付を表示。※2 国債利回りを表示 (ブラジル：4年、南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年)。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高 (円安) を上向き、現地通貨安 (円高) を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。※政策金利については、ブラジル：Selicレート、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

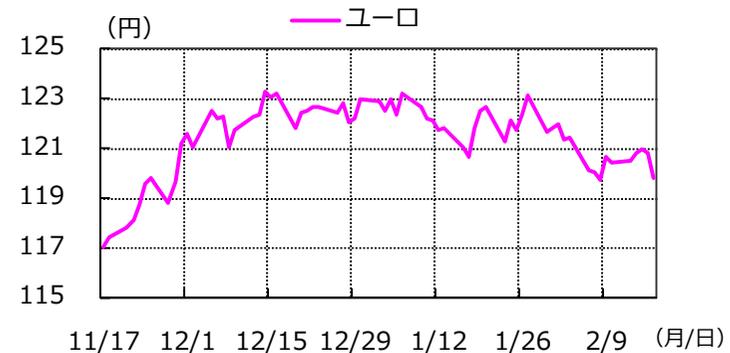
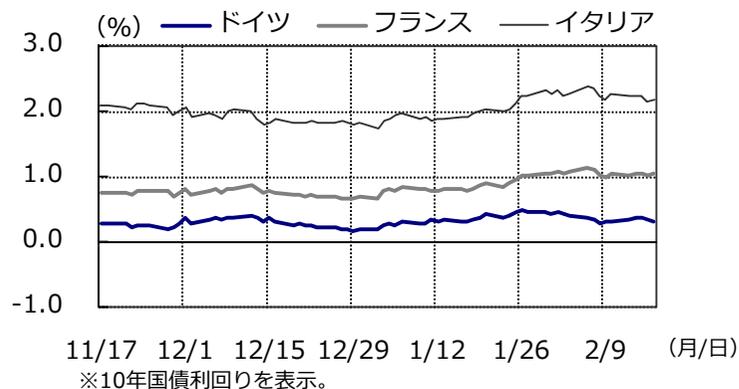
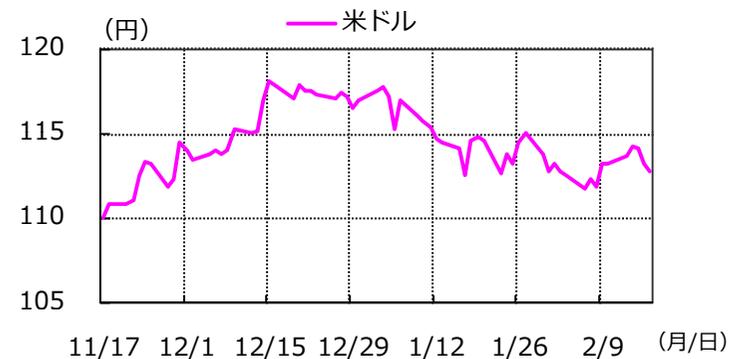
国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		2/17 (2/10との比較) 今後の見通し (※4)	2/17 (2/10との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
メキシコ 	A	7.23% (+0.09)	5.52円 (▲0.79%)	+2.2% 2016年4Q	6.25%	米国では移民に対する規制強化の検討を進める一方、同国との国境問題に関する協議の予定が発表されるなど、一部では進展も。国債利回りは上昇。ペソは対米ドル、対円ともに下落。	実質経済成長率やインフレ統計などの発表を予定。また、金融政策決定会合の議事録の公表も予定。市場は経済指標と中銀の姿勢を確認しながら、債券・為替ともに小動きの展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
トルコ 	BB+	11.10% (▲0.04)	31.02円 (+0.98%)	-1.8% 2016年3Q	8.00%	経常収支の赤字額が市場予想を下回ったものの、前月より拡大。国債利回りは低下。金融引き締め策による効果などから買い戻しの動きが進み、リラは対米ドル、対円ともに上昇。	消費者信頼感指数などが発表される予定。世論調査では憲法改正に対する国民投票の賛否は拮抗。4月の投票日に向けて政治的な不透明感が高まることが想定され、債券・為替ともに頭の重い展開を予想。
	Ba1	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		
中国 	AA-	4.17% (+0.00)	16.45円 (▲0.24%)	+6.8% 2016年4Q	4.35%	経済全体の融資総量が前月から大幅に増加したほか、CPIやPPIなどのインフレ統計の前年比伸び率が加速したことなどを背景に、国債利回りはほぼ変わらず。円高により、香港市場の人民元は対円で下落。	住宅価格指数などの発表を予定。当局による住宅市場の規制強化の中、住宅価格の動向が注目される。また、3月に予定される全国人民代表大会では、2017年の経済成長目標が引き下げられるかも注目される。
	Aa3	 金利上昇		 景気鈍化	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。※2 国債利回りを表示（メキシコ：5年、トルコ：5年、中国（香港市場における中国国債の利回り）：10年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。※3 経済成長率については、前年同期比を表示。※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを表示。※為替レートについてはいずれもNY終値（中国の為替は、香港市場における人民元の為替レート）を表示。※政策金利については、メキシコ：翌日物金利、トルコ：1週間物レポレート、中国：1年物貸出金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/11/17～2017/2/17

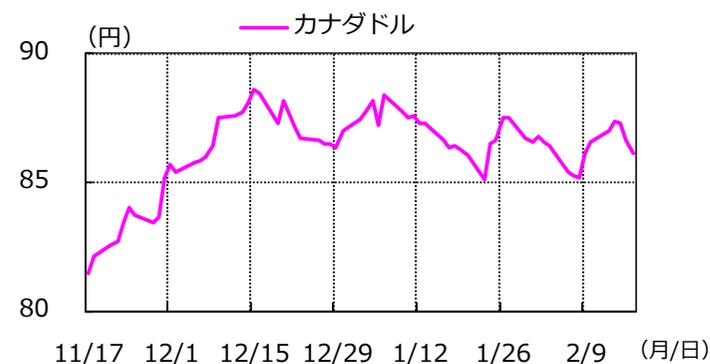


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

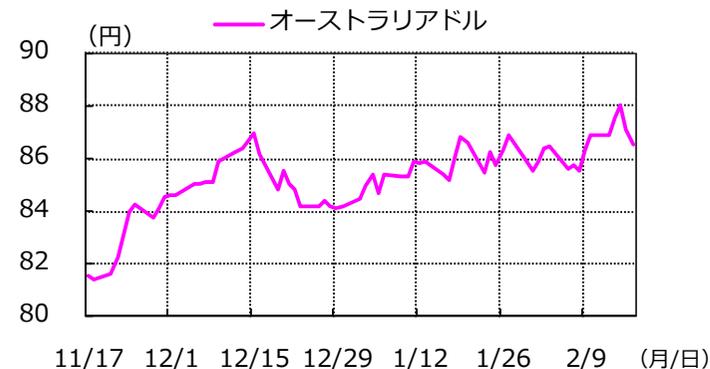
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/11/17～2017/2/17

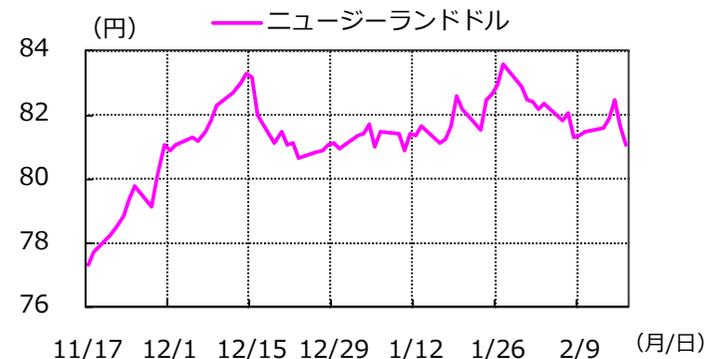
カナダ



オーストラリア



ニュージーランド



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

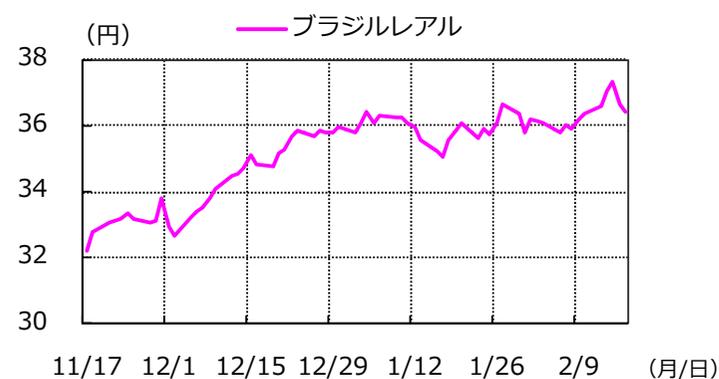
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/11/17～2017/2/17

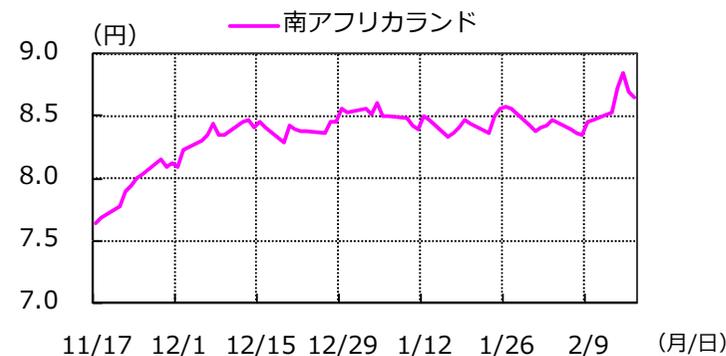
ノルウェー



ブラジル



南アフリカ

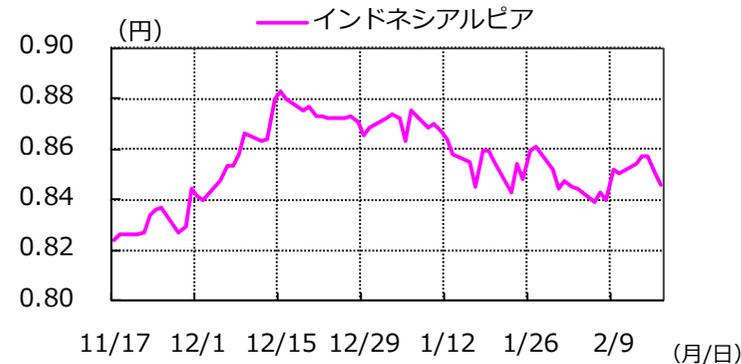


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

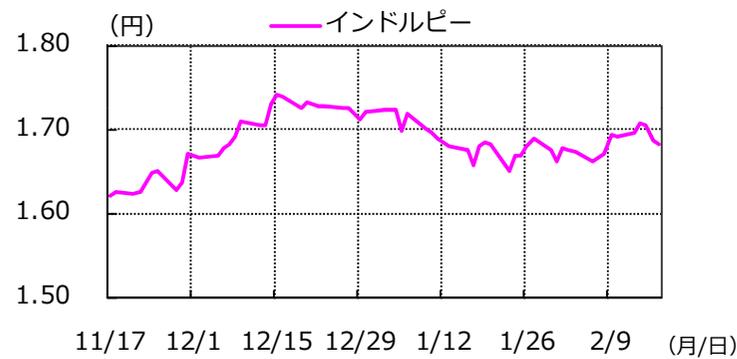
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/11/17～2017/2/17

インドネシア



インド



メキシコ



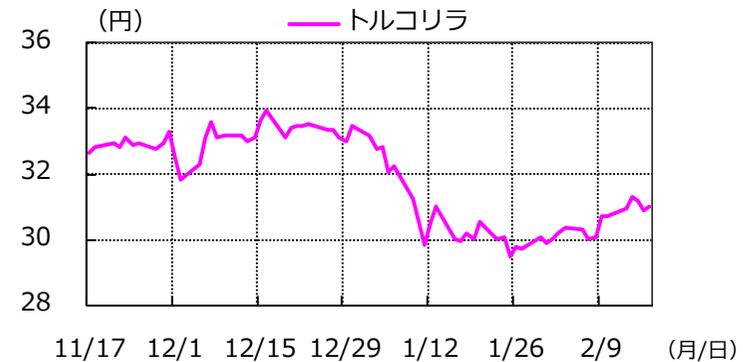
※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

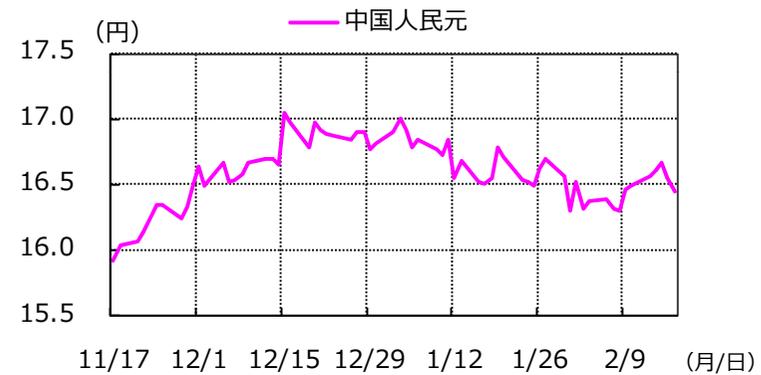
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2016/11/17～2017/2/17

トルコ



中国



※香港市場における中国国債の利回りを表示。

※香港市場における人民元の為替レートを表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等を基にアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

【ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限4.104%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。